

日本ポリオレフィン総合研究会 会誌投稿規定と原稿作成要領

本研究会は平成20年(2008年)4月より研究会誌「次世代ポリオレフィン総合研究」を発刊しています。研究会誌への投稿規定と原稿作成要領は以下の通りです。

【投稿規定】

1. 投稿者(著者のこと)は原則として本研究会の会員(従来の研究会に参加された企業、個人、団体です)にお願いするものです。ただし、本会誌の編集者が特に依頼した著者についてはこの限りではありません。
2. 投稿原稿のテーマは、ポリオレフィンに関わる技術領域(構造、物性、触媒、製造プロセス、後処理、混練りとコンパウンド、添加剤、成形加工、市場アプリケーション等)、社会科学的アプローチの領域(産業論、企業論、研究開発論、廃プラスチック環境論、産学官連携活動等)、需給統計と動向、メーカー又はサプライヤーリスト等と致します。
3. 原稿は、ワープロによる稿として、A4版タテ、2段組で、図表を含み、3ページから10ページ程度を目途とします。但し、統計等の場合は図表やリスト表のみの使用を認めます。
論文原稿の書式は別途(次ページ)定める「原稿作成要領」に従ってお願い致します。
4. 本会誌に掲載された論文、記事などの内容についての責任は著者が負うものとします。
5. 論文作成に伴い発生した調査や写真使用等による費用は著者の負担でお願い致します。
6. 原稿は、投稿いただいた後、編集者が全体編集や割付けのために、書式について若干の補正や修正をお願いすることがあることをご了解下さい。
7. 本会誌への掲載料は原則としてお支払いできないことをご理解下さい。
8. その他
 - 1) 投稿された原稿は、原則として返却致しません。
 - 2) 寄稿いただいた著者には、原稿が掲載された年会誌を1部進呈します。論文が連名の場合でも、進呈部数は1部といたします。
 - 3) 原稿の中で、自社製品を紹介されることは結構ですが、その販売の広告を主目的とすることは避けて下さい。
9. 投稿原稿はe-mailに電子ファイルとして添付いただき(容量が大きい場合は、ファイル転送便などをご利用ください)、下記3者に同時にご送付下さい。

<原稿送付先 E-mail 及び電話番号>

- (1) 理事・副学長, JAIST, 次世代ポリオレフィン総合研究会会長
寺野 稔、e-mail: terano@jaist.ac.jp 電話: 0761-51-1622
- (2) 准教授、JAIST, マテリアルサイエンス研究科、
谷池 俊明、e-mail: taniike@jaist.ac.jp 電話: 0761-51-1630
- (3) ㈱ブリディクション郷事務所, 本研究会事務局
郷 茂夫 e-mail: go2pred@bk.ij4u.or.jp 携帯: 090-9382-0809

なお、お問い合わせは上記の連絡先へお願い致します。今後ともよろしくお願い致します。」

【原稿作成要領】

投稿原稿は以下の作成要項に準じたものとして下さい。

下記の要領に沿ったページの例示を以下に添付しています。

1. 投稿原稿は和文とします。但し、外国人が著者の場合は英文とすることもあります。
2. 原稿は、A4 版タテ、2段組で、ワープロソフトはMS “WORD” (ver2007, ver2010以降)による稿を標準とします。WORD原稿で送付ください。
(pdf原稿で送られた場合、書式の修正ができない場合がありますので、必ずWORD原稿をお願いします。)
3. 原稿枚数は、図表を含み、3 ページから10ページ程度を適当サイズとします。但し、図表やリスト表資料が場合においては、11ページ数以上や例外的ページ割付けも認めます。
4. ページ周囲のマージン:上端=25mm, 下端=20mm, 左端=20mm, 右端=20mm(又は字数調整のために19mm)として下さい。
5. フォント
書体は標準のserif 体フォント(p-明朝体)とします。数字は半角表示, 外国語は全角カタカナで表記するか, アルファベットを用いる場合は半角表示として下さい。ただし, 見出しや略号等の特別な場合は, この限りではありません。
6. 字体(serif 体フォント、proportional)について; WORD は和文フォントと英文フォントを別々に設定できます。従って, 和文は明朝体, 英文はTimes やTimes New Roman、またはCentury などを設定下さい。
この場合, 英文(alphabet)の字間隔は英文標準ですから, 字間隔を短く設定する必要はありません。(従来の原稿で, 英文字間隔を短く設定しておられた著者がおりました, 印刷すると字ツブレが起こってしまった部分がありました。)
7. 字数と行数:本文フォント:10 pt, 段内の字数:23 , 左字詰め, 行数:47 行をお願いします。
8. 1ページ目の詳細書式 → 次ページへ。

ポリオレフィンの需給動向レビュー

(2014年9月まで)

郷 茂夫^a

PE と PP の需給動向と技術動向をレビューする。2013,14年のプラント新增設は中国が多いが、北米は2017年にエチレンとPEの大幅増設の完工を迎える。PO世界需要は年率3~5%で伸長見込みだが、需要依存度の大きい中国の動向がリスク要因である。2014年の国内生産レベルは、輸出の増大もあり、PE, PPともに前年比でかなり増加すると見込まれる。

1) ページ上段に枠囲いで、表題タイトル:14 pt, bold, 副題あれば:12pt bold, 著者名:12 pt (氏名の右上肩に a, b, c, … を添える), 及び要旨(10 pt, 300字以内)を記述してください。

タイトル、要旨の枠内の詳細書式:

- ・枠線: 6pt、三重線、
- ・フォント: 日本語 p-明朝体、 英語: Times New Roman, とか Century、
- ・文字とのマージン: 内 上 3mm 下 2mm 左, 右 3mm
外 上, 左右 ゼロ 下 5mm
- ・行間: 題目の下 1.5 副題の下 1.5 氏名の下 1.5 要旨文 1.0 or 1.15 行
- ・外部文章の折り返し: 上下のみでよい(枠幅はいっぱいだから)。

2) 下のテキストボックス/経歴欄:

枠線: 0.75pt、実線、

フォント: 上記と同じ、10pt

ボックス内: (1) a, b は肩つき小文字にしない。普通サイズ

(2) 上、下 1.25 mm 左右 3mm 「サイズ調整はする」をチェック入れる。

(3) 文字列折り返し: 上下

ボックス枠外の上、本文文字列とのスペース; 2 or 3mm 空白

以上」

a 元三菱化学勤務 元三菱商事勤務